

横浜子育てサポートシステム入会説明会 (1面で制度のご紹介をしています。)

「子どもを預けたい人」と「子どもを預かりたい人」が会員として登録し、会員相互の信頼関係のもとに、子育ての支援を行います。

会員になるには、入会説明会に参加後、会員登録が必要です。「預かりたい人」は3日間の研修があります。

※当日は、別室での保育(無料)も行っておりますので、ご希望の方は、同時にお申込みください。

日 時：平成26年 2月20日(木)、3月20日(木)、
4月17日(木)、5月15日(木)、
6月19日(木)、7月17日(木)

各日 午前10時30分～11時30分

場 所：ピアハッピー栄(栄区福祉保健活動拠点)内

申込先：栄区社会福祉協議会

申 込：前日までに電話でお申込みください。

第16回 ようこそ・であい広場

栄区福祉保健活動拠点を利用しているグループによるおまつりです。

栄区内のボランティアグループ・当事者グループ・障がい者施設等の活動PRや地域との交流を図るため開催します。

日 時：平成26年3月1日(土)
午前10時～午後2時

会 場：ピアハッピー栄(栄区福祉保健活動拠点)内

内 容：バザー(リサイクル品・手作り品)
食べ物いろいろ模擬店
パソコン体験コーナー
子どもの遊びコーナー(景品もあるよ！)

主 催：ようこそ・であい広場 実行委員会

「さかえ・つながるフォーラム」開催します！

第2期栄区地域福祉保健計画「さかえ・つながるプラン」は、中間年度を迎えています。さらに多くの方に地域活動を身近に感じてもらうため、「さかえ・つながるフォーラム」を開催します。フォーラムでは、シンポジウムと「つながり」「支えあい」をテーマにした演劇を上演します。是非、ご来場ください！！

日 時：平成26年2月23日(日) 午後1時30分～
午後3時45分
会 場：栄公会堂(入場無料)

平成26年度 さかえ ふれあい助成金 日赤地域福祉活動助成金 説明会

さかえ ふれあい助成金と日赤地域福祉活動助成金は、区民同士の支え合い活動によるボランティア活動など、地域福祉保健に貢献する事業の支援を目的とします。

募集にあたり、説明会を次のとおり開催します。

日 時：① 平成26年3月10日(月) 午後2時～
② 平成26年3月11日(火) 午前10時～
(①、②とも、同一内容です)

会 場：ピアハッピー栄(栄区福祉保健活動拠点)内
団体交流室

申込先：栄区社会福祉協議会

申 込：団体名・参加者氏名・電話番号・希望日を明記の上、ハガキ・FAX、電話で、2月28日(金)までにお申込みください。

※会場の都合上、各団体1名の参加をお願いします。
※助成金の申込みは、平成26年4月1日(火)～4月30日(水)です。
申込みされる場合は、なるべく説明会にご参加ください。

今号から音声版を制作し、社協窓口等に設置しています。

【編集後記】

2020年東京オリンピック・パラリンピック招致が決まり、何か胸がドキドキ・ワクワク楽しくなってきました。スポーツは、やってよし・見てよし・応援してほしいものです。感動を共有できる素晴らしいものですね。友達に会うと、「オリンピックを元気で見られるように頑張ろうね」が言葉になりました。10年先は長いけれど、6年後なら何とかなる年月ではないでしょうか。晴れ渡った青空にくっきり描かれる五輪のマークが、今も目に浮かびます。

ふたたびも東京でオリンピックが見られる幸せを感じています。(木村)

【栄区社会福祉協議会広報編集委員】

豊 田(堀田 賢二) 笠 岡(鈴木 繁)
小 崎(谷山 聡 咲恵) 本郷中央(木村知恵子)
本郷第三(佐藤喜久子) いでたち(二村 忠孝)
上 郷(谷山浩太郎) 積み木(金井 恭子)
上 郷東(堀田 朋子) ながさき(比佐いづみ)

栄区桂町279-29
045(894)8521

さかえ区社協だより No.39

発 行：社会福祉法人 横浜市栄区社会福祉協議会
〒247-0005 横浜市栄区桂町279-29ピアハッピー栄(栄区福祉保健活動拠点)内
電話 045(894)8521 Fax 045(892)8974 平成26年2月1日発行
E-MAIL: office@sakaeku-shakyo.jp URL: http://www.sakaeku-shakyo.jp 承認：栄区連第115号

地域で子育てを応援！ 横浜子育てサポートシステム

市民が会員登録し、子どもを預けたり預かったり、地域ぐるみでの子育て支援をめざしています。

- 子どもを預けたい……【利用会員】 市内在住、生後57日以上小学校6年生までの子どもをお持ちの方
- 子どもを預かりたい……【提供会員】 市内在住、20歳以上、子育て支援に理解と熱意のある方
- 【両方会員】 利用会員と提供会員の両方を兼ねる方

利用方法 まず入会説明会に参加し、入会申込書を横浜市社会福祉協議会に送付します。10日前後で入会が完了します。提供会員は研修会(3日間)を受講後、入会申込書を提出することになります。(※説明会の日程は4面をご確認ください。)



- 利用会員は地区リーダー(会員間のコーディネートをする方)に利用の申し込みをします。
- 地区リーダーは条件にあう提供会員を探します。
- 提供会員がOKの場合、コーディネート成立！地区リーダーは利用会員に提供会員の連絡先等をお知らせします。
- 利用会員は提供会員に連絡を取り、事前打ち合わせの日程を決めます。

※事前打ち合わせは、利用する前に利用会員、提供会員と利用会員(子ども)が顔合わせをし、細かいことを決めたり、確認することです。この打ち合わせが終了後から、利用が開始となります。

利用料について 月曜日～金曜日 7:00～19:00 1時間あたり800円
土曜日、日曜日、祝日、年末年始、上記の時間外 1時間あたり900円
※その他交通費等の実費負担もありません

社会福祉協議会 ロゴマーク
社会福祉および社協の「社」を図案化し、「手を取りあって、明るくあわせな社会を建設する姿」を表現しています。



地域で行われた子育て世代や誰でも参加できる活動をご紹介します。

小菅ヶ谷地区

わが子を災害から守るために

乳幼児のママパパ向け
防災講座



11月26日(火)、小菅ヶ谷地域ケアプラザにおいて、乳幼児のママパパ向け防災講座が開催されました。平成24年度から始めた子育て支援事業の第2弾として、小菅ヶ谷地区社会福祉協議会が企画したものです。講師に横浜・防災ボランティアネットワークの千葉ひろみさん、宇都宮直哉さんを迎えて、「電気紙芝居・阪神淡路大震災と東日本大震災から学ぶ」、「さらし布を使ったおんぶ体験」、「非常食(アルファ米と缶パン)の試食」が行われました。子育て中のママ達の他に、孫のためや子育て支援団体のスキルアップのためにと多くの方が参加され、熱心に取り組んでいました。

田中健次会長から、「小菅ヶ谷地区社協では、高齢者福祉事業に加え、新たな地域課題への取組みとして子育て支援や地域の支え合いに関する事業などを行っています。平成24年度は子育て支援の第1弾として、柴田愛子さん(りんごの木代表)による、ココロを軽くする子育て講座「もっと話したい子育ての楽しさ」を開催しました。子育て世代も安心して暮らすことが出来るまちづくりをめざしていきたい。」とお話がありました。(谷山・山崎)



「災害時に大切な子どもの命を守るために、学んでください」とあいさつする田中会長

熱湯で15分、水で60分置くだけ
カンタンにできる「アルファ米」
の試食。美味しい!



初めてのおんぶ体験に
取り組むママと赤ちゃん



非常持ち出し品の紹介

本郷中央地区

協働
福祉講座

だれでも手軽に健康づくり

11月16日(土)「本郷中央地区支えあい連絡会」主催の第2回協働福祉講座「筋力は力なり ~だれにも手軽に健康づくり~」が桂台中学校で開催されました。当日は本郷中央地区内の各町内会、自治会、シニアクラブなどからスタッフを含め多数の参加があり、体育館は賑やかに包まれていました。

「本日の講座は、支えあい連絡会行事の一貫として実施いたします。体験されたことをぜひ今後の生活に役立ててください。」との本郷中央地区社協の亀澤会長あいさつの後、みんなで元気にラジオ体操。85年の歴史あるラジオ体操は13種類の動きで構成され、きちんと行えばかなりの運動効果が期待できるとの説明を受けました。

体験の後、今度は話題のメニュー「ポールウォーキング」に挑戦です。専用ポールを持つ手が足となって、両手と両足を使う全身運動です。歩幅は広がり歩数は減り、自然に片足で移動する時間が長くなり、足関節の骨と筋肉が鍛えられる効果的な運動とされています。(二村)



最高齢参加者のSさん(98歳)にお聞きしました。

【参加理由】

若いときに体育指導員として、地域の皆さんと一緒に毎朝ラジオ体操を行った経験があり参加いたしました。おかげさまで今日も、若い皆さんと楽しいひと時を過ごさせていただきました。

【長寿の秘訣】

1. 早寝早起きを守り早朝体操を行い、生活リズムはくずさない。
2. タバコは45歳で禁煙。酒は1週間に1~2回250ml。
3. 3年運用日記にその日の出来事を書いており、30年間続けています。



体操コーチの話

人間の筋肉のなかでも、特に歩行に不可欠な三つの筋(腰、大腿、下肢)が、加齢とともに、顕著に衰えて(後退)いきます。これを覚えやすく江戸時代の「参勤交代」になぞらえて「三筋後退」といいます。衰えきりにならないためにも、朝夕の散歩にも「ポールウォーキング」で足関節を鍛え、「三筋後退」を防いでいきましょう。

第27回栄区社会福祉大会が開催されました

平成25年11月22日(金)、第27回栄区社会福祉大会(主催:栄区社会福祉協議会・栄区内各地区社会福祉協議会)が栄区役所を会場に行われました。今回は次のみなさんが表彰されました。(敬称略)

ボランティア活動功労

サロン・かみの
手話っち
富士見台気楽なサロン
飯島団地自治会・福祉委員会
真木 芳子
石島 ヒロ子
清水 洋子
らんちーず

金品寄託功労

上山 由美子
橋本 節
栄区食品衛生協会
栄区生活衛生協議会
谷口パン・お菓子教室
手作りパン教室ライラック

福祉団体自主活動功労

田口 郁朗
本多 輝男
小見山 賢治
白石 京子
中森 修
細見 ふく
伊藤 京子
根本 幸子
三上 由紀子
四方田 恵美子



会員団体活動訪問記 『あしたばの会』

明日葉



「明日葉」の名の由来は「夕べに葉を摘んでも明日には芽が出る」と形容されるように、強靭で発育が速いことから来ている。

「あしたばの会」は今から30年前、障がいがあっても地域であたりまえに暮らしたいという思いを胸に、本郷養護学校(現在の本郷特別支援学校)のPTAや卒業生の保護者の方々が中心になって生まれた「親の会」です。訪問した日は、中学生・高校生の保護者の部会「青年部」の活動日で、障害者週間や研修会(今年の研修テーマは「将来の生活・グループホームに入るまで~入所後の暮らし」)の準備にお忙しい日でしたが、お話を聞かせていただきました。

◆「あしたばの会」で、親も子どもも成長

「大勢の中にいるとまるで置物のように固まっていた子どもが、「あしたばの会」の活動の中で自己主張も増え、友達にも声をかけるようになった。」周りからは、「しゃべれたの?」「声を聞いたことがなかった」と嬉しい反応をいただき、今では高等部生徒会の副会長まで務めるようになったそうです。

◆「あしたばの会」は、宝物

会は、幼児・学童・青年・成人の親に分かれて活動しています。子どもにどう対応していいかわからないときは、子どもの年齢に応じた先輩からの適切な助言で安心が得られます。共に泣いて悩んで、「こんなことができるようになった」「こんなことを言うようになった」と、成長と一緒に喜べる仲間となっているそうです。

◆こんな社会になったらいいなあ

「子どもの自立を願っています。障がいのある子は増えており、個々の状況によりさまざまな地域の学校へ通っている。学ぶ場(分教室)や、卒業後の働く場(作業所)、生活の場(グループホーム)がもっと近くに増えるとよい。」また、「大きくなってからおむつが必要な子には、駅などにおむつ交換のできるユニバーサルトイレがあると、外出がもっと好きになる。」という声がありました。



障害者週間に記る啓発物品の準備をしながら、子どものこと、活動のこと、おしゃべりは楽しく弾みます。



親子手織り教室:会員有志による活動を通1回行なっています。毎年11月に行われる作品展を目標に織り上げています。世界に一つだけの素敵な作品ばかりです。

取材を終えて
親亡き後の子どもの生活を案じ、子どもの自立を願う親の気持ちに胸を打たれました。(比佐・平岩・山崎)